

— 静かな夜と空を返せ —

発行日：2022年8月29日

発行者：大沢豊／福本道夫

No.54

横田・基地被害をなくす会 NEWS

横田訴訟準備会 NEWS

No.02

連絡先：〒196-0003 東京都昭島市松原町4-10-24-100

E-mail：なくす会⇒yokota_nakusukai@yahoo.co.jp 準備会⇒yokota9th@yahoo.co.jp

Web サイト <http://yokota-nakusukai.sakura.ne.jp/>

発行：横田・基地被害をなくす会／横田基地公害訴訟準備会

※ NEWS は「横田・基地被害をなくす会」と「横田基地公害訴訟準備会」の合同発行です。

合同発行

この NEWS は、横田・基地被害をなくす会と横田基地公害訴訟準備会の合同発行です。

横田・基地被害をなくす会（以下「なくす会」と表記）は、「基地被害をなくすことを目標にした施策の立案、実施を通して、被害の軽減・解消を推進し、もって、民生の安定・住民福祉の向上と恒久平和の実現に期することを目的とする」組織で、横田基地公害訴訟（現在は「準備会」）は、その目的実現のために起こす裁判を行う組織です。但し、なくす会の会員と訴訟準備会に応募していただいた原告予定者は、別々の組織加入者です（両団体に加入している方もいます）。

そのため、会費や行動などは必ずしも一致するものではありませんが、目的が同じため、NEWS を「合同発行」としています。

なくす会と訴訟準備会の関係は、なくす会と訴訟準備会が中心になって上述の目的を達成するために裁判を目指し、原告団が結成され提訴したのちは、なくす会が原告団の支援組織として活動することになります。

訴訟準備会から原告団へ 結成総会10月23日～地裁提訴11月10日

5月初めから訴訟への呼びかけチラシを各地に配布・訴訟説明会を開催してきましたが、7月末でこの活動をいったん終え、8月に原告応募者のまとめ作業に入りました。現在の原告応募者は約200名程度ですが、委任状等の書類の確認作業によって、人数の増減があると思われます。

そして、原告団結成総会・提訴日を上記のように決定したところで、9月になって再度原告募集活動を1か月間集中的に行い、提訴を見据えて原告団を正式に結成する予定にしました。

もちろん、11月の提訴後も原告になりたい方がいる場合は、2次提訴も考えていかねばならないと考えています。

原告に応募された方やなくす会・会員の方には、

横田基地の被害を訴える声が少しでも多く裁判所に届けられるよう、ご家族や知り合いを誘っていただきたくお願いするものです。そして、その材料となる「第2回目の原告募集チラシ」が完成しましたら、皆さんの元に郵送でお届けします。

また、「訴訟の請求」や「弁護団との委任契約」の内容については、10月23日の原告団結成総会前にお届けする「議案書」の中で明確にしていきたいと思います。今後ともご協力のほどをお願いいたします。

なお、原告団結成総会は10月23日（日）15時30分～昭島市・昭和会館2階、東京地裁立川支部への提訴は11月10日（木）12時30分に地裁付近集合とする予定です。場所の地図などの詳細は、後日お知らせします。（訴訟準備会・事務局）

CV-22 オスプレイ（横田基地にも配備）全機飛行停止

去る8月18日、新聞やネットでの報道で、「米空軍が8月16日にCV-22 オスプレイを安全上の理由で、無期限で地上待機するよう指示した」ことが明らかになりました。

この指示は、米空軍特殊作戦司令部のスライフ中將が行ったもので、飛行中のクラッチの不具合による事故が2017年以降で計4件、過去6週間で2件起きたことによる危機管理対策だそうです。

そして、8月17日以降、横田基地に配備されている6機は動いていません。また、この措置に応じて、陸上自衛隊が木更津駐屯地で運用しているV-22 オスプレイ9機も地上待機状態です。

一方、沖縄県普天間基地でMV-22 オスプレイ（海兵隊仕様）を運用している米海兵隊第1海兵航空団は、この不具合について「2010年にクラッチの不具合を確認し、搭乗員が問題なく飛行できる緊急手順を入隊後と通年の訓練に取り入れた。」「53万時間超飛行しているが、クラッチの不具合が招いた惨事は一度もない」とし、飛行を続けています。

これらの対応を受けて、横田・基地被害をなくす会、横田基地公害訴訟準備会など6団体で構成しているオスプレイ横田配備反対連絡会は、防衛省に対して、9月1日に（防衛省・北関東防衛局の現地出張所である横田防衛事務所を訪問）以下の内容などの申し入れを行う予定です（内容は今後検討）。

【要請事項】

- ① 同じ構造を持つ米軍のCV-22、MV-22、CMV-22、陸上自衛隊のV-22 オスプレイの飛行は、「不具合

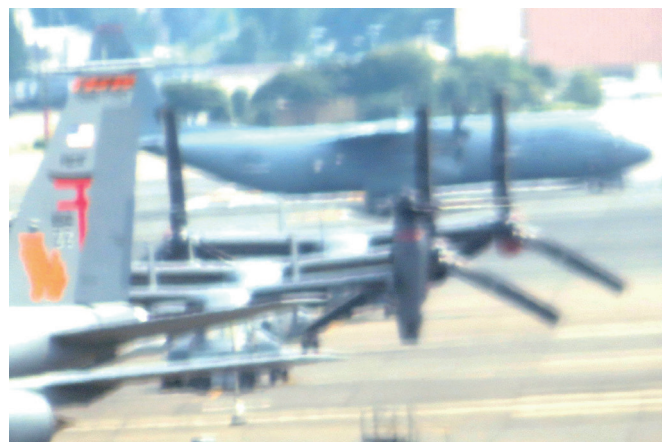
の解決策」について周辺住民を十分に納得させ得る説明ができるまで、停止状態にしておくこと。

- ② このような不具合が生じる可能性が高いオスプレイの配備を撤回すること。

- ③ ②の要請を聞き入れない場合、①の措置・説明を十分に行ったうえで、オスプレイの飛行を再開する際には、停止期間中の飛行時間の穴埋めをするような過密な飛行を行わないこと。

【質問事項】

- ① 今回の飛行停止の指示について、防衛省は米軍からどのような説明を受けているのでしょうか。
- ② 米海兵隊のMV-22と米空軍のCV-22の運用の対応の違いについて、日本政府はどのように考えているのでしょうか。また、陸自所属のV-22の飛行再開についての条件はどのように考えているのでしょうか。



2022/8/27 駐機したまま飛べない状態のCV-22 オスプレイ

追加の訴訟説明会を開催します（9月）

右の表のように、追加の訴訟説明会を開催します。既に原告団に加入された方でさらに説明を聞きたい方や、加入したい方を紹介したい場合など、利用してください。

なお、ZOOMによるオンライン参加も受け付けます。

月日・曜日	説明会会場	開始時刻
9/10（土）	瑞穂・武蔵野コミュニティセンター	13時15分・15時
9/11（日）	瑞穂・武蔵野コミュニティセンター	13時15分・15時
9/17（土）	立川・西砂会館（TEL042-531-0066）	13時15分・15時
9/19（日）	昭島・公民館	13時15分・15時
9/23（金）	昭島・公民館	13時15分・15時
9/24（土）	日野・旭が丘地区センター	13時・15時
9/25（日）	日野・旭が丘地区センター	13時
	日野・川北地区センター	15時30分

※瑞穂・武蔵野コミュニティセンター TEL 042-570-0555

※昭島・公民館（市民会館併設） TEL 042-546-1711

※日野市・旭が丘地区センター 旭が丘中央公園内 TEL042-514-9229

※日野市・川北地区センター 日野市西平山1-23-4 TEL090-4227-8598（塚本）

「不誠実な回答に終始」・・・でも、基地周辺住民の声を直接届ける 全国基地連、対政府（外務・防衛、 国土交通・環境省）への要請行動

8月2, 3日の両日、全国基地連（全国基地爆音訴訟原告団連絡会議）が、第47回全国公害被害者総行動の一環として政府要請行動を行いました。この要請行動、コロナ禍のため昨年に続き首都圏の4団体のリアル参加+遠隔地の原告団はオンラインで参加の形での要請となりました。全国基地連には私たち横浜基地公害訴訟準備会をはじめ、普天間、嘉手納、新田原、岩国、小松、厚木など全国の9つの騒音訴訟団+運動体が加盟し、裁判闘争はもとよりこうした対政府要請行動など、お互いに情報交換し連携しながら闘いを続けています。

ここ2年の間に5つの訴訟原告団が最高裁判決を受け、1つの訴訟原告団が高裁段階で上告を断念していますが、これらの原告団は、宿願の「静かな夜を返せ！飛行差し止めを！」を求め、あらたな原告を募り、次の訴訟を提訴、ないし準備しています。

また、世界情勢の緊張、日米軍事同盟・共同演習の強化などいずれの基地も機能強化に見舞われ、基地被害・公害は増す一方になっています。

さて、今回の要請行動です。8月2日は午後から外務・防衛（+内閣府）への要請。前回もそうでしたが、政府側の対応人数は計24名と多いのですが（外務1, 防衛21, 内閣府2の省職員）、ほとんどが若手の部員、係員等。責任をもって答えられる人物が不在で、全国基地連の丁寧な質問・要請に対し、意図的か否かの外れで無責任な回答に終始。例えば、全国の様々な基地被害に対して「申し入れを理解し配慮に努めているものと理解している」、つまり日米地位協定そのものを体現し、米軍に事実すら確かめず「理解」する回答に終始。低空飛行訓練に対して「米軍は我が国の公共の安全に妥当な考慮を図って活動しています。防衛省としましては、平素から米側に対し、安全面への配慮、騒音規制措置の遵守などについて申し入れています。」という、前回同様の主旨の回答。現地に赴いて状況を確認めたのか、米軍に申し入れて確かめたのか、具体的答えは返ってこないと言うものでした。

8月3日は、午前国土交通省、午後環境省への要請。国土交通省では航空管制、フライトプランや安全高度-低空飛行についてのやり取りに関しては「関係省庁との調整、権限外の問題」として回答を避ける。横浜ノースドックでの米軍の違法、無法な行為に対して、チェックできない現状をあらわにする始末しました。

環境省は大臣官房環境保健部環境リスク評価室室長、水・大気環境局の総務課長以下課長補佐、室長、審査官など13名が対応。それなりに丁寧なやり取りとなるが、肝心な点は権限外として答えられない。航空機騒音の環境基準設定、防音工事、低周波に関する事などについては、いろいろ言うが結論なく「検討している」にとどまる。低周波問題について環境基準策定は進んでおらず、測定も政府（環境省）が率先してやる姿勢無く自治体任せ（自治体は国がやるべきものとして手を付けないのが現状）。特に普天間訴訟団から出された有機フッ素化合物(PFAS)と健康被害調査についても「県任せ」の姿勢で、環境省としての役割が果たせていないと指摘した。

総じて、基地周辺住民や各地の原告団の要請・要求を関係省庁にぶつけることと同時に、関係地方自治体、地方防衛局への要請行動を合わせて行い逃げ道を極力閉ざすことの重要さを実感しました。基地被害に対して、裁判闘争で争うと同時に、こうした関係省庁や自治体との要請行動も、いら立ちは募りますが、粘り強く続けていきたいものです。

（訴訟準備会事務局 棟棠浄）



2022/8/3 環境省での交渉の様子。モニターで写っているのは、オンライン参加の嘉手納・普天間・新田原の原告団

全国基地連が提出した政府要請 (外務大臣・防衛大臣宛)

—横田基地に関する要請・質問のみ抜粋—

1. 東京都と5市1町の自治体から、CV-22 オスプレイの目視について復活することが総意として出されています。これまでの異なる飛行ルートでの訓練が常態化しており、早期の目視の復活を行うこと。

この要請に対し、政府担当者から「配備から約1年という間、CV-22の離着陸の状況について地元自治体へ継続的、計量的にお知らせをいたしまして、一定の役割を果たしたということから、令和元年9月末をもって当省職員による情報提供を終了させていただいたところです。」旨の回答と情報提供を行った期間についての回答をいただきました。

ここで言う「一定の役割」とは何なのでしょう。22時を超えての夜間飛行や22時近くまで行われる低周波音を長時間発生させるヘリモードによるホバリングや低空移動訓練の実態を把握しているのでしょうか。

2. 演習による騒音等の被害について

①横田基地で今年5月9日から12日までの演習「Beverly Morning 22-01」による騒音は近隣市町のみならず、多摩地域全域住民を驚かせるものでした。早朝6時30分前から夜間9時過ぎまでの戦闘機F-16複数機による離着陸、急旋回、急上昇などによる長時間の激甚音に対し、多くの住民から驚きと抗議の声が周辺自治体に寄せられています。このような演習が市街地・人口密集地上空で行われることに対し、騒音被害、危険をなくすという観点から、国は米軍に中止を求めてください。

なお、演習名の最後に22-01とありますが、これは22-02も予定しているという意味でしょうか。

②上記演習において、F-16は4機編隊、あるいは2機編隊で、翼を接するかのような飛行を行っている様子が見受けられました。このような飛行は、過去に、翼の接触によって事故につながった例が数例ありました。地上でこの飛行を見ている私たちにとっては、横田基地周辺では禁止されている「曲技飛行」に等しいものと見えます。このような訓練を市街地上空で行わないよう、申し入れてください。

3. 横田基地を中継地とする危険な空中給油について

陸地上空での空中給油は、2017年防衛大臣発言で「行わない」と確認されています。ところが、今年になって、甲府市上空で戦闘機F-35への空中給油が目撃されました。

横田基地を中継地としてこのような訓練が行われてい

るのではないのでしょうか。また、これにより、横田基地へのKC-135、KC-130などの給油機の飛来が増大している理由と考えられます。騒音の増大と共に、空中給油訓練が陸地上空で行われているとすれば、事故があった際の被害は甚大なものになります。

陸地上空での空中給油は絶対に行わせない・行わないと確約してください。

4. 横田基地に関する日米合意の遵守について

①夜間飛行の禁止条項について、政府側担当者は「日米で合意した内容で運用されている」旨の回答をされているが、実態は22時～6時までの飛行が当たり前のように行われており、2021年度は、ここ数年間で最も多い回数となっています。

②人口密集地上空での旋回訓練時に低空飛行が目撃されています。写真や映像、レーダーサイトなどで確認すると、C-130やCV-22が海拔1500ft以下で飛んでいる実態が明らかになっています。

このような実態を防衛省は把握しているのでしょうか。防衛省が、夜間飛行や低空飛行、市街地上空での飛行などの実態を把握しているなら、少なくとも公表できる範囲で公表してください。また、把握していないとすれば、それはなぜでしょうか。

例えば22時～6時までの間の飛行回数、その内容（輸送機が米本土から着陸・米本土に向けて離陸、訓練からの帰投、高官の輸送）を明らかにしてください。

また、このような実態を踏まえて、米政府・米軍に、具体的にどのように申し入れをしているのでしょうか。

外務省は低空飛行の実態についての私たちの指摘に対し「航空機の飛行高度の分析には専門的な知見が不可欠であり、写真や目撃等のみをもって一概に飛行高度を特定することは困難だと承知しています。」と回答しています。この回答の趣旨から言えば、日米合意は空文にすぎません。外務省と防衛省は日米合意の遵守の確認のために、調査を行ってください。「米軍の遵守を信じる」だけが日米関係の正しい在り方であると考えているなら、それは誤りであることを認識してください。

5. オスプレイに関して

①横田基地に配備されるCV-22は、2024年までに10機体制となることが公表されています。具体的には2018年に5機、2020年に1機が配備されました。本年6月の3機の船積み、2機の陸揚げ～横田基地への飛

毎月1日＝1の日行動・横田基地ゲート前 Standing を振り返って

横田・基地被害をなくす会 黒田 恵

毎月1日11～12時、基地ゲート前での抗議スタンディングが4年目になる。

2月24日に起こったロシアのウクライナ侵攻は、世界を窮地に追いやり停戦への道が閉ざされた状況にある。

日米政府は、その危機に乗じて軍事強化を目的にした合同軍事演習を、横田基地を含め日本全土で繰り広げている。

4月、横田基地を囲む塀の向こうには満開の桜。日米友好のシンボルである。米軍基地の敷地で見事に咲く姿は、先の大戦で命を失った人々の無念、不条理への悲しみが遺されているように思える。16人の参加。

5月は11人の参加。ロシアの侵略が、ウクライナ住民の居住地域で繰り広げられている。住民が、凄惨な攻撃の巻き添えに晒されている。いつも、無辜の命が翻弄され辛苦の底に追いやられる。

そのことに思いを馳せ、ウクライナの惨状、停戦を呼びかける訴えが続いた。

後片付けの時、10代の青年がやってきた。私たちに「なぜ抗議するのか？自分には疑問だ。」と。話は平行線だったが、こういう議論が家庭で、学校で、日常の中であってほしい

この一週間後だ。爆音が関東一円の空を引き裂いた。その轟音に大方の人は釘付けになった。決して大袈裟ではなく、何が起こったかと体が固まった。

パイロット、整備士150人と共に、米軍三沢基地所属のF16が15機。横田基地で「BeverlyMorning」迅速機敏戦闘機展開、重大事故即応演習22×01の音だ。

埼玉、長野にかけての2～6機編隊、早朝から夜間にかけて12日迄繰り返された。

又、滑走路が破壊される事態の修復作業やF16への燃料補給。墜落想定では、福生消防車が待機で参加している。

6月は17人参加。そして交番かない！3mはある白い囲いが設置され、交番の立て替えの解体工事が始まると。

そして、よくよく見ると米軍基地内の左側に日本の装甲車、パトカーが駐車している。「これは！？」そこで思いだした。以前、米軍基地内から交番への飲み物の差し入れがあった。やっかみじやないぞ。

沖縄では、事故が起こると米軍による規制線が張られる。日本の警察、議員は立ち入りが許されない。

来は、どのような位置づけなのでしょう。

②3機は点検や整備、改造のために米本土に帰ったのでしょうか。それとも新たなCV-22と交代するための帰国なのでしょう。同様に、2機のCV-22は交代機なのでしょう。新規配備機なのでしょう。毎度毎度繰り返されるように、米軍発表まで数か月待つような事柄なのでしょう。

③横田基地内での訓練とはいえ、長時間にわたるホバリング、または低空移動訓練などにより、ヘリモード時に発する特有の低周波音が発生しており、広範囲にわたる住民から被害の声が上がっています。特に病気で寝たきりの方や寝ることが大事な乳幼児にとって、低周波音の振動が眠りを妨げ、体調に変化をきたしています。

この間、防衛省から「長時間のホバリングを控える等、地域住民の生活に十分配慮することについて、累次の機会に米側に申し入れております」との回答をいただいておりますが、何度でも要請します。

ヘリモードでの訓練の実態を把握し、これらの訓練を行わないよう、米軍に強く申し入れてください。

6. 他基地所属機の横田基地やその周辺で行う訓練について

週末になると、米軍機P-8やKC-130などの他基地所属機が横田基地にやってきて、タッチ&ゴーやローパスの訓練、それに伴う旋回訓練を何度も行っています。平日の訓練でさえ耐え難いのに、飛行回数の少ない週末に他基地所属機による訓練を行っていることについて、日本政府はその実態を把握しているのでしょうか。

また、これらの訓練を行わないよう、米軍に申し入れてください。

7. 横田基地にけるPFAS問題について

①かつて米軍基地内で使用する水は、基地内でくみ上げたものを使用していると聞いたことがあります。これは事実でしょうか。そして、現在も同様に基地内でくみ上げた水が使用されているのでしょうか。または、周辺自治体から水の提供を有料で受けているのでしょうか。

②米軍が基地内でくみ上げた水を使用していないとすれば、その理由は何でしょうか。それは基地内でPFOSやPFPAが検出された時期以前のことでしょうか。以降のことでしょうか。

③横田基地周辺の浅い井戸で規定を超えたPFOSやPFOAが検出されていると聞いています。これらの原因は、基地内で行われていた有機フッ素化合物が混入した泡消火剤を使った消火訓練が行われていたからだと推測されています。

日本政府は、周辺自治体と共に、基地内への立ち入り調査を行い、原因を明らかにさせてください。そして、PFASによる水の汚染対策を講じてください。

7月、炎天下なのに11人集まる。ほぼ高齢者。日差しを遮るものはない。気が気でない一時間。うだる暑さの中、無事終わりほっとする。

長袖の迷彩服の男女兵士が、基地ゲートを出入りし私たちの前を行き来する。

米軍関係者のフリーパスの行き来に、ここは米国の州だと思わざるを得ない。

酷暑の8月に13人が集まる。空気が熱い。沖縄の黒砂糖と冷たい飲み物の差し入れに身体が生き返る。

今日は、オスプレイが頻繁に離陸し旋回を頭上で繰り返している。

存在を、ここでの訓練を正当化し誇示しているように感じた。

6月に話を戻すと2日、横田基地所属CV 22オスプレイ3機が、横浜ノースドックに着陸。米国船籍SLNC YOPKに積み込まれ那覇軍港(MV 22オスプレイ3機積載)経由でオーバーホールの為に米本土に。

9日、同じ貨物船でノースドックに機体番号が違うオスプレイが2機おろされ横田に。この2機と、21年に1機追機のオスプレイには、機体後方上部にHFアンテナが設置されている。低空飛行での電波障害を防ぐ為らしい。本土で分解点検、そして運用向上を高める機能を取り付ける。

日米政府の同意の元であるとしたら、到底許されない。日本の航空国内法に抵触する可能性があるのでは。安全性を最大限に確保する責任は、日米双方にあるはずだ。

軍事訓練自体が、有事、重大事故即応と極めて危険を伴うことを前提に行われるもの。

米本土では、低空飛行を含め全ての飛行訓練を住宅地域では、やっていないはず。

今の米軍は、日本全土にある軍事基地を訓練空域にしている

3月甲府で空中給油が目撃されている。地上の上空では禁止だ。「戦争ありき」が大義にされるのは、政治の退廃だ。

何よりも、人命、生存を脅かす運用には毅然とした政府の姿勢を求める。

そして政府自ら、日本国憲法にある「第25条」を遵守する行動をとるのが政治の責任のはず。主権者の命、日常生活、生存が、著しく損なわれる危険な状況を最大限回避する責務を果たしてほしい。

政府は、何回「できる限り」「妥当な考慮」と問題を濁してきたことか、人命軽視は人権侵害。この延長線上に、日米軍事演習が無尽蔵に強化拡大してきたと思う。

日常の安心、毎日の穏やかな営みが、本当の安全保障だと、声をあげる。

一国(同盟国)だけで、平和な状態はありえない。国際

社会は相互につながり影響を受ける。

日本国憲法「戦争放棄」が平和外交の基本だと、軍事基地撤去を、来月もゲート前で。



◇◇◇◇◇横田基地に関する情報◇◇◇◇◇

- * 5/21-22 日米友好祭：パラシュート降下訓練や戦闘機(F-16など)、オスプレイのデモフライト実施。
 - * 5/22 17:03 米大統領専用機 Air Force 1 が横田着陸。バイデン大統領はヘリVC-25Aで赤坂へ。
 - * 5/24 米大統領帰国。
 - * 6/2 横田基地のCV-22 ③機が横浜ノースドックに着陸～羽をたたんでサンディエゴからやってきた米国船籍・貨物船SLNC YORKに積み込まれ(6/8か)那覇軍港経由で米本土へ。オーバーホールとマイナーチェンジ？
 - * 6/3 在韓米軍オースン基地のA-10 ②機飛来～6/4 離陸。この日前後マニアが多かった。KC-46？
 - * 6/7 三沢のF-16 ②機が飛来～帰投
 - * 6/9 貨物船から陸揚げされたCV-22 ③機が横浜ノースドックから横田に飛来
 - * 6/13 嘉手納のF-15 ②機が着陸-6/14 帰投
 - * 6/24 MV+22 (EP-07) オスプレイがローパス
 - * 7/4 横田基地での祝米独立記念日花火実施
 - * 7/6～8 米軍機+陸自空挺団の降下訓練(王城寺原、横田基地)
 - * 7/5 米本土からC-130H ②機、C-130J ①機が飛来。→7/7 横田のC-130Jと編隊飛行
 - * 7/6～7/8 米軍機を活用しての陸自第1空挺団による降下訓練(王城寺原及び横田基地)
 - * 7/9 F-35A ②機がアラスカ州から飛来。～7/10 帰投。
 - * 7/17 米本土より大型ヘリMH-53E ②機飛来～7/18 帰投。
 - * 7/22 米空軍F-35A ④機飛来～7/25 帰投。
 - * 7/25 C-130Jによる物資投下訓練。
 - * 7/28 横田基地西地区で空砲を使った訓練
 - * 7/26 早朝：陸自隊員約70名、7/27 早朝：陸自隊員30名が、横田基地からC-130に搭乗してグアム島アンダーセン基地に前進～米国・インドネシア・日本の3か国による実動訓練(ガルーダ・シールド22)。
 - * 7/28 米空軍F-35A ④機が離陸(いつ飛来したか不明)
 - * 7/29 米本土より大型ヘリMH-53E ②機が飛来。
 - * 8/5 横田基地関係者1名がサル痘に感染が判明
- ※ここ数か月間、空中給油機の飛来が多い。南西諸島で活発化する戦闘機支援のためか？

経過報告と今後の予定 (2022年5月21日～)

☆☆☆☆☆☆ 経過報告 ☆☆☆☆☆☆☆

- * 5/21 訴訟説明会 (瑞穂・武蔵 CC)
- * 5/22 訴訟説明会 (立川・西砂会館)
- * 5/23 なくす会・会計監査
- * 5/23 オスプレイ東日本連絡会
- * 5/25・26・31 全国基地連・政府回答
- * 5/27 三多摩平和運動センター総会で訴え
- * 5/28 訴訟説明会 (瑞穂・武蔵野 CC)
- * 5/29 訴訟説明会 (瑞穂・武蔵野 CC)
- * 6/1 横田基地 Standing
- * 6/2 役員会議+訴訟準備会
- * 6/3 議案書印刷+帳合
- * 6/4 訴訟説明会 (瑞穂・武蔵野 CC)
- * 6/5 なくす会定期総会
- * 6/10 弁護士+原告団会議
- * 6/11 訴訟説明会 (昭島・昭和会館)
- * 6/11 米軍横田基地反対集会・デモ
- * 6/12 訴訟説明会 (立川・西砂会館)
- * 6/18 訴訟説明会 (瑞穂・武蔵野 CC)
- * 6/19 訴訟説明会 (昭島・大神会館)
- * 6/20 第3次新横田地裁提訴支援行動
- * 6/23 三多摩東地域・西地域オルグ
- * 6/25 訴訟説明会 (福生・福東会館)
- * 6/26 訴訟説明会 (福生・福東会館)
- * 6/29 オスプレイ横田配備反対連絡会
- * 7/1 横田基地 Standing
- * 7/2 訴訟説明会 (八王子・石川市民 C)
- * 7/3 訴訟説明会 (八王子・石川市民 C)
- * 7/5・6 全国基地連事務局長会議
- * 7/7 役員会議+訴訟準備会
- * 7/9 訴訟説明会 (日野・旭丘地区 C)
- * 7/10 訴訟説明会 (日野・旭丘地区 C)
- * 7/11 オスプレイ東日本連絡会
- * 7/16 訴訟説明会 (瑞穂・箱根ヶ崎中央会館)
- * 7/17 訴訟説明会 (瑞穂・箱根ヶ崎中央会館)
- * 7/19 弁護士+原告団会議

- * 7/20 重要土地規制法反対の情報交換会
- * 7/24 訴訟説明会 (入間・金子公民館)
- * 7/27 オスプレイ反対署名事前配布
- * 7/29 訴訟説明会 (昭島・環境 CC)
- * 7/30 オスプレイ反対署名回収
- * 7/31 訴訟説明会 (昭島・環境 CC)
- * 7/31 訴訟説明会 (入間・金子公民館)
- * 8/1 横田基地 Standing
- * 8/2 全国基地連政府交渉 (外務・防衛)
- * 8/3 全国基地連政府交渉 (国交, 環境)
- * 8/4 役員会議+訴訟準備会
- * 8/9 反核平和座り込み (三多摩平和運動 C)
- * 8/23 オスプレイ東日本連絡会議
- * 8/24 弁護士+原告団会議
- * 8/24 新横田との情報連絡会
- * 8/27 横田基地案内 (某団体)
- * 8/29 NEWS 印刷・発送準備
- ☆☆☆☆☆☆ 今後の予定 ☆☆☆☆☆☆☆
- * 9/1 オスプレイについて横田防衛事務所要請
- * 9/1 横田基地 Standing
- * 9/1 役員会議+訴訟準備会
- * 9/3 オスプレイ反対署名 (福生駅東口デッキ)
- * 9/9 オスプレイ連絡会
- * 9/10 訴訟説明会 (瑞穂武蔵野 C C)
- * 9/11 訴訟説明会 (瑞穂武蔵野 C C)
- * 9/17 訴訟説明会 (立川・西砂会館)
- * 9/18 訴訟説明会 (昭島・公民館)
- * 9/23 訴訟説明会 (昭島・公民館)
- * 9/24 訴訟説明会 (日野・旭が丘地区 C)
- * 9/25 訴訟説明会 (日野・旭が丘と川北地区 C)
- * 9/29 基地案内 (弁護士)
- * 10/1 横田基地 Standing
- * 10/6 役員会議+訴訟準備会
- * 10/23 原告団結成総会 (昭和会館)
- * 11/10 横田基地公害訴訟・立川地裁提訴
- * 2023年1/20～22 全国基地連総会 in 沖縄

「うるさい!」と思ったら…

各自治体には、苦情としてお伝えください。件数が記録されます。

抗議先一覧

- 横田基地：042-552-2511
- 航空自衛隊横田基地：042-553-6611
- 防衛省北関東防衛局：048-600-1800
- 防衛省横田防衛事務所：042-551-0319
- 外務省：03-3580-3311
- 東京都庁：03-5321-1111
- 瑞穂町役場：042-557-0501
- 羽村市役所：042-555-1111
- 福生市役所：042-551-1511

- 昭島市役所：042-544-5111
- 立川市役所：042-523-2111
- 武蔵村山市役所：042-565-1111
- 日野市役所：042-585-1111
- 八王子市役所：042-626-3111
- あきる野市役所：042-558-1111
- 青梅市役所：0428-22-1111
- 入間市役所：04-2964-1111
- 飯能市役所：042-973-2111

諸行動のお知らせ

- ◇10月23日(日) 15時30分 原告団結成総会
- ◇11月10日(木) 12時30分 立川地裁提訴行動

【オスプレイ関連行動】

- ◇毎月1日午前11時～の横田基地第2ゲート前 Standing 9月1日, 10月1日, 11月1日, ...
- ◇9月3日(土) オスプレイ反対署名活動 福生駅東口2階デッキ

NEWS内容 (目次 = CONTENTS)

訴訟準備会から原告団へ.....	1	横田基地ゲート前 Standing を振り返って.....	5
CV-22 オスプレイ全機飛行停止.....	2	横田基地に関する情報.....	6
追加の訴訟説明会を開催します.....	2	経過報告と今後の予定, うるさいと思ったら.....	7
8/2, 8/3 全国基地連 対政府交渉.....	3	諸行動のお知らせ.....	8
全国基地連政府要請文抜粋.....	4	目次, 天欄.....	8

暑かった夏。炎暑の下の横田基地ゲート前の月一回スタンディングはかなり厳しいものでした。

でも、ウクライナで戦争がはじまり、横田基地を離発着する戦闘機や輸送機が増える中で、スタンディング参加者は毎回10名を越え、20名に迫る人数になったこともあります。ゲートの外に出てくる米兵のほとんどが戦闘服姿でした。「横田基地は、ウクライナの戦場とつながっているんだな」と改めて感じる人が多い行動でした。

8月3日の東京新聞スポーツ欄に、藤島大という人が書いています。「この新聞が読者の手に届く3日後、広島に原爆が落ちた。77年前のことである。同9日に長崎も焦土と化し、その6日後、音のよれたラジオが敗戦を告げた。戦争を知らない世代が戦争の風化を拒む。簡単ではない。そこで愛の対象を断ち切られる不幸を想像してみる。スポーツは根源の死活問題とは別のところにある。しかし好きになってしまえば、これなしでは生きる意味も薄くなる。戦争はラグビーも野球もサッカーも壊す。ささやかな偏愛の自由を奪う。年齢をいくら重ねても、永遠の青春の声で反戦を唱えるに十分な理由である。」—「その通り」、と納得です。8月の新聞各紙は例年15日の敗戦記念日で「戦争報道」が終ります。でも今年はずう。それは戦争が近くなった「不幸」と重なっていると感ずます。

家に籠もっていたコロナのこの二年、再発見の一つが「水木しげる」でした。講談社文庫のまんが、『総員玉砕せよ』は2年以上前に読んだ本です。再読して発奮、図書館や本屋に行って借りたり買ったり・・・水木しげるを読みふけりました。

もう一人、今年の「再発見」は沢地久枝でした。亡くなった瀬戸内晴海の同志でもある沢地は「満州」からの帰国者です。早稲田大学の夜間に通い、昼間は出版社の雑用をして生計をたて、編集者になり、その後、日本の戦争のあとを辿る現地・当事者に取材する旅をして、読みごたえのある本を多数書いています。彼女はまだ存命。一度招きたい人です。

砂川の旧拡張予定地で30年来育った梅の木の実を収

天欄

穫したのが5月、夏の天日干しを最後にできあがった梅干しを秋、9月1日のゲート前行動で配

る予定。みなさんの笑顔が楽しみです。(K)

ジョン・レノンのHappy Christmasという曲を知っていますか？ クリスマスには早いのですが。

So this is Christmas And what have you done?

Another year older And a new one just begun

And so this is Christmas I hope you have fun

The near and the dear ones The old and the young

A merry merry Christmas And a happy New Year

Let's hope it's a good one Without any fear

And so this is Christmas For weak and for strong

For rich and the poor ones The war is so long

And so happy Christmas For black and for white

For yellow and red ones Let's stop all the fight

A merry merry Christmas And a happy New Year

Let's hope it's a good one Without any fear

And so this is Christmas (War is over)

And what have we done (If you want it)

Another year over (War is over)

And a new one just begun (Now)

And so this is Christmas (War is over)

I hope you have fun (If you want it)

The near and the dear ones (War is over)

The old and the young (Now)

A merry merry Christmas And a happy New Year

Let's hope it's a good one Without any fear

A merry merry Christmas (War is over)

(If you want it) (War is over now)

A merry merry Christmas (War is over)

And happy New Year (If you want it)

War is over, over now (Now)

ソングライター: J.lennon, Y.ono. 非営利目的の使用に限る。…著作権の関係はわかりませんが、すみません。

この歌の歌詞がいつまでも意味を持ち続けているのが悲しい。()の歌詞をバックで歌い続ける…。(M)